

# 機器の所有者（管理者）は義務としての責任が増大

## 管理担当者を決める

管理する機器を調査しリストを作る機器ごとに点検記録簿（ログブック）を作成する

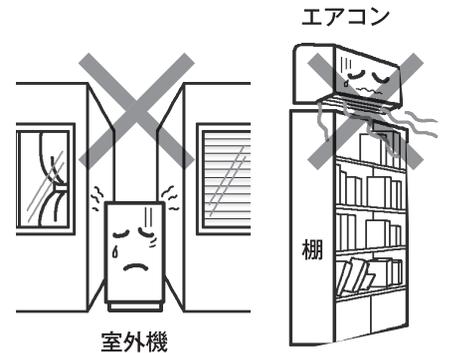
点検記録簿………  
（例）・店内  
・バックヤード



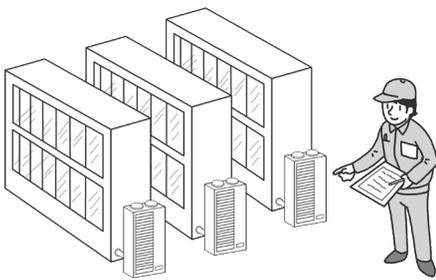
## 簡易点検の実施担当者を決めておく



## 機器を適切な場所に設置



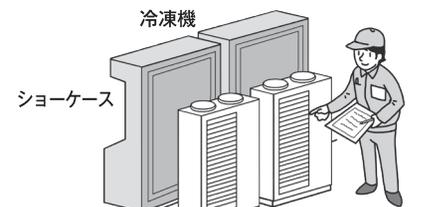
## 簡易点検は日常的に実施する



## 漏えいが疑われる場合は、専門業者に速やかに点検・修理を依頼する

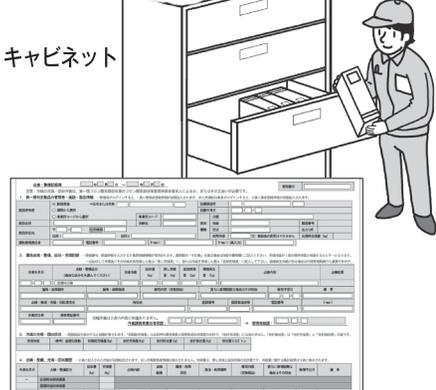


## 専門業者（「冷媒フロン類取扱技術者」等）による定期点検の実施

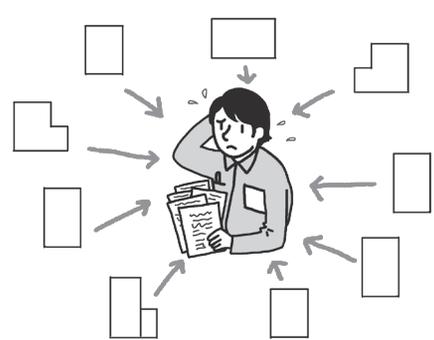


定期点検の頻度		
製品区分	圧縮機の定格出力	点検の頻度
エアコン	7.5kW 以上 50kW 未満	3年に1回以上
	50kW 以上	1年に1回以上
冷蔵・冷凍機器	7.5kW 以上 50kW 未満	1年に1回以上

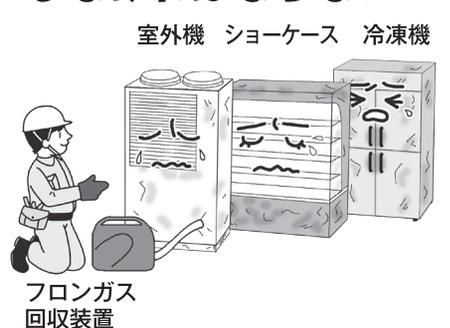
## 点検・整備記録簿を記録・保存



## 算定漏えい量の報告



## 機器の廃棄時にはフロン類を回収しなければならない



# 罰則

（管理者関連）

- 1年以下の懲役又は50万円以下の罰金
  - ①フロン類のみだり放出
- 50万円以下の罰金
  - ①管理者の判断基準違反
  - ②行程管理票交付違反

- 20万円以下の罰金
  - ①「管理の適正化の実施状況報告」の未報告、虚偽報告
  - ②立ち入り検査の拒否、妨害、忌避
- 10万円以下の過料
  - ①算定漏えい量の未報告、虚偽報告